

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  ( 1 )
	298・299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0789.95	NR ㊦	
0840.33	NR [ho: 70 山で唄いた。]	
0873.94	NR <唄いながら。>	
0897.91	? ホオホオ	
1791.33	NR 唄いたことばない。	
1814.25	<唄いたことばない> NR	
1848.24	NR <唄い。>	
1859.84	NR <唄いたことばない。ここの小学校で唄いた。>	
1862.48	キアア <飼っている。キアというだけで唄い。>	
1942.03	NR <唄い。年寄りから ho:ho: moritsuke ho:se と唄いと言われた。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	(A) 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ
	298-299		
項目名			(2)
ほうほう(ふくろう)の鳴声		225	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2700.48	NR 〈特別に言わない〉	
2743.86	NR 〈知らない〉	
2754.11	NR 〈聞いたことなし〉	
2754.56	NR 知らない	
2755.76	NR 〈鳴き声を聞いたことのない。〉	
2761.44	NR 〈声を聞いたことなし〉	
2762.61	NR 〈知らない〉	
2763.89	NK 〈ほとんどこの鳥を見たことなし〉	
2765.66	NR 同席の尾ヲ ho:	
2785.74	NR 〈知らない〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	298-299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			(3)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
27 44. 85	ōho noredzige ōho. <たわむれてこ言うことあり>	
36 48. 28	NR. 不明.	
36 49. 58	NR. 不明	
36 88. 82	NR <減多に見られぬのでわからぬ。>	
36 89. 75	tedepôpô ぬやいと思、たが、こい、ア鳴くとい。	
37 02. 81	moho: moho: norikate hoce: <のり貫、アサの注>	
37 06. 91	NR 知らぬ。	
37 11. 92	(明日雨) derosuke dāho (明日晴) noritsuke hōse	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は差密にする。

買付番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	298.299		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(4)
ほうほう(ふくろうの鳴声)		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 12. 89	天氣の良い 夕夜. moho moho nürisite hôge 翌日 雨のとき. moho moho nürisite dôsa 〔註〕ヌリシテ トーサ 期 ヲイテ フツス ハア (ha) (とろろ)	
37 20. 58	(雄) norodzüge hôse (雌) gjæ gjæ	
37 21. 37	NR 不明	
37 21. 71	NR 不明	
37 23. 21	(天) moho moho norisite hosê (雨) noritswke moho	答 21. 71 13頁

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 228		(5)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 24. 36	ホロスケ ホホ、オホ (雄) キヤー キヤー (雌)	
37 27. 81	ダラスケチアホ オーホ (雄) キチヤー キヤー (雌)	
37 30. 39	NR 不明	
37 32. 73	NR 不明	
37 35. 50	オホオホ テリスケ、オホ (雄) ケヤー ケヤー (雌)	
37 40. 29	1リツケ ホーシエ 翌日天気がよい ゴツゴツ 雨が降る。	
37 40. 33	NR 不明	
37 41. 16	mo'ro'züké'ho':se: éは狭い	
37 41. 57	morotsüké hôse --- (1) (1)あと3日は翌日雨 teretsüké hôse --- (2) (2)あと3日は翌日好天といふ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買部番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	298・299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声)			(6)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 42. 82	hō hō      norodzwege hōse 天気はよい " "      hō hō 天気は悪い。	
37 43. 49	(雄) オホホ スレツケホー (雌) ギャー ギャー	
37 50. 75	kî kî (雨の前) pô pô (よい天気の前)      ? ちよと あやしい。	
37 52. 53	天気よいとき noritsike ho: ho: … 悪いとき ho: ho:	
37 54. 37	オホホ タラスコテアゴ (豊年 <small>ア</small> の時) オホホ (凶年 <small>ア</small> の時)	
37 54. 76	NR      〈南 <small>ア</small> たこと <small>ア</small> 1〉	
37 60. 93	φwkwto ho: se <晴れ <small>ア</small> は <small>ア</small> せ <small>ア</small> と <small>ア</small> い <small>ア</small> 3と <small>ア</small> だ〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (7)
	298・299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 298			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3761.22	norosüke hô hô ---- (明日天気+) norosüke ----- (明日雨)	
3762.71	NR 不明	
3765.03	NR <おろろいだい>	
3775.11	トコスケオホ (雄) ギア- ギア- (雌)	
3778.00	NR <南いたこと+1>	
3780.65	noritsüke hôse ---- 日天気+に+3 hô hô ----- 雨+に+3	
3781.49	norosüke ho ho ---- 日天気+に+3 hô hô ----- 雨+に+3	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕などに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  ( 8 )
	298・299		
項目名		ほろほう(ふくろうの鳴声) 226	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 82. 98	moritsüke hôse (翌日天気のおいとマ) gæ gæ (雌)	hō hō
37 91. 02	morosjke ho: ho: (M) hō: hō:	
37 91. 76	morosüke ho: ho: <こまいう>	hō hō
37 92. 96	(翌日天気のおい時) morosüke hoho	ho ho
37 94. 55	こ-こ- <雌>	ドクスケオホ
37 95. 33	<雄> ホ-ホ- <雌> キ-キ- (雌をXンブクドという由)	
45 98. 59	bo: bo: <オトは ho: hō:>	
46 09. 54	NR <鳴声といふあらわすとは別にナリ>	
46 18. 87	murtsüke ho: se (不吉な鳥で鳴くと不吉か 又は kokko' おとすといふ俗信あり)	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	298・299		
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(9)
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4619.98	ko:koko: (#)	
4628.61	#? tedeppoppo: (自信の叫び 答へ)	
4637.20	ki:ki: --- 〈天気がよくなる時の鳴き声〉	
4638.22	no <sup>o</sup> ro <sup>o</sup> sūke <sup>o</sup> ho:ʔsɛ̃ <small>わは不都合中化 えは狭い</small>	
4643.47	ho: 〈このおりにいっさいは声を発す。 hja:ŋ 赤ん坊の泣き声に似ているという。〉	
4644.10	ʃjo:ʔzho:z は「あのおは」寄り 〈声の要い人が友達を呼ぶような感じ〉 『鳩は teteppjoppjo, ホトキズは honzay kaketaka 』 『740-の泣き声の固定した言ひかたはな』	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ  (10)
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4647.87	NK (11177木-ハ) とは云う。	
4648.42	noroswke ho:hon — 〈両岸の鳥の鳴声〉 noroswke hoseN — 〈天気は雨を知りし鳥の鳴声〉	
4648.59	# notswke ho:ho: ---- 〈夜の鳴声〉 gja: gja: - ---- 〈夕立はこう云て注〉	
4653.02	NK 圃(11)は:と付。	
4654.52	NR 〈鳴声を云う〉	
4657.64	po: po: (211)は:と付。	
4659.85	雄 — { $\phi\phi$ : $\phi\phi$ mun:tsu $\phi\phi$ : $\phi\phi$	

雌 — kja: kja

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  ( 11 )
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 226			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
46 63. 06	DK 〈鳴き声に安心な〉	
46 65. 87	ki ki ki (?)	
46 67. 33	? ホオホオ 〈キィキィと鳴くあはみみすくか?〉	
46 75. 45	? poppo = a 辺にはふくろうは少ない。	
46 76. 60	<sup>NR</sup> 〔moritswke ho:se〕……妻が答へ、被調査者が認めた。	
46 81. 77	dedeppopo 〈これは昼間鳴く声である〉 moritswkehose 〈これは夜鳴く声である〉 (昼間鳴くものであると30か 疑わし.)	
46 85. 28	noritswke ho:se……〈天気の良い時の鳴き声〉	po: po:

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (12)
	298・299		
項目名		ほうほう(ふくろうの鳴声) 225	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4685.88	noritsuke hose hohon 〈糊付け乾せ木〉	
4686.02	NR 〈まいたことばたん。〉	
4694.95	hotsukw ho:se [noritsukw ho:se]	
4699.07	NR 〈いぢいマ、南いぢい。〉	
4701.14	norisuke ho:ho: (傍線部分 誘導)	
4703.18	mo: mo: (?) moridzuke ho:ge —〈田こう鳴けは「着物の 糊とつけマケセ」といふ てあるから型日は天気がよい〉	
4704.04	(雄) ナラスケホーホ (雌) キーキー	
4706.84	bo: 〈?〉 [gorosuke bo:ho:] 〈?〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (13)
	298・299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声)		226	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
47 10.55	? tedet poppo:	
47 11.41	[morisw̄kè φo: s̄e φo: φ:] (明日は天気は お(は)3から、11) ツケ布を干せといふ 鳴くという言葉は ある。)	
47 13.02	gja: gja: (?) <この辺ではこの鳥を食へる。 非常にうまいものがある>(?)	
47 13.60	mosotswkeho: ho: <?>	
47 15.33	N.R. <まじにことばない>	
47 16.72	gja: gja: (!)	
47 24.28	# kja: kja: <?>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (14)
	298-299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
47 24. 75	N.R. 〈この辺にはいない。自分は実際にこの鳥の鳴くのを聞いたこともない。他人がその音を1マリの音で聞いたことではない。〉	
47 30. 45	ho: ho: (又は φo: φo:)	nèrèdzügè φo: φo:
47 31. 42	[noridzügè he: sükè φo: φo:] 〈1リをつけた布を乾せ。(明日は天気になるから)の意があるという。〉	
47 32. 86	mwritsuke ho: ho: 〈子供などにはホウリツクホーホのキタウナナと言っていた。〉 (この場合には、鳥の名称として使われている。)	
47 33. 91	ho: ho: !nimidzuke ho: ho: {〈おすの鳴声〉 kta: …… 〈おすの鳴声〉(?)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で得る情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (15)
	298・299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4741.92	? ksi ksi <この辺にあまり来ないからさくわからぬ> (左のキキは 2つの鳴き声を誤解 したものとと思われる。)	
4742.37	[ne:litswke ho:ho:]... [この鳥は「明日は天気が良からず着物に耕を付けておわらせ」と言う うたがある。]	
4742.95	[no:litswke ho:ho:]	
4743.44	ho: ho: <?>	
4744.10	dedeppopo (?) 【デデッポッポというのは 山はとの鳴き声であって ふくろうは ho: ho: である】	
4744.32	N.R <この辺にはない>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は気密にする。

資料番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (16)
	298・299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 226			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4751.42	ho: ho: (又はφo: φo:)	
	nuridzüge φo: φo: → <ロ位と17こうた むと教えられた>	
4752.27	neletsüke hoho... <多少位説明している。>	hoho
4753.76	#(?) nja: nja:	
4760.02	meredzüge ho: ho: <今はろくといはか 若はこうたといふ>	
4760.64	[metsükè h <sub>w</sub> o: h <sub>w</sub> o:]	
4760.98	mo <sup>r</sup> ritsükè ho: ho: w <sup>o</sup> の中古にけけけけけ けけけ	
4761.93	NR <南のけけ>	
4762.99	tete:ppoppo (?) (調査者の郷里の新潟県では これは山鳩の鳴き声である...)	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は黒密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (17)
	298-299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
47 72.33	po: po: 〈おといたが、今はいない〉	
47 91.61	NR 〈鳴いない〉	
47 91.65	NR 〈まいたこいない〉	
47 92.43	ho: ho: gorosūke ho: ho はみすく	
47 94.30	NR 〈まいないなま わからない〉	
55 08.19	NK 〈居はなから鳴いない〉	
55 16.19	NR わからない。	
55 18.20	NR 知らない	
55 18.71	NR 知らない	
55 27.15	NR 知らない	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は破密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (18)
	298・299		
項目名			
はほうくふうろうの鳴声 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
55 39.16	NR 知らない	
55 56.35	NR 〈知らない〉	
55 56.84	to: site to: koi (to: ko: かい知らない)	
55 58.09	moritsuke ho: se (糊をつけてわかる意味)	
55 66.95	NR 〈わからない〉	
55 75.00	NR たま声をまいたことば	
55 79.42	no'ritswke ho: se: ho: ho: 〈ho: ho: のようにノリツケホセー あとに来ると天気になる。逆にホセー ホセーノリツケホセーと鳴くと雨になる。〉	ho: ho:
55 90.53	ノリツケホセ (天気になる) トオキヲトオコイ (雨になる)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地点番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (19)
	298-299		
項目名			
ほろほろ(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
55 97. 26	? コオ コオ	ホオホオ
55 99. 41	NR < 知らない。 >	
56 02. 99	ho: ho: < moritswke ho: se ho: se ho: se >	
56 04. 28	kozo koe kozo koe < 月夜にこぞとくといふ死ぬと信ぜられたる。 >	kja: kja:
56 12. 98	hohon hohon } ここの鳴き声のちびいの moritswke hose } 意味は説明1つおいた。	
56 13. 33	#? ho: ho: < ふくろはみりこ、まこいふいふ。 >	
56 13. 48	#? deteppopo	moritswke ho: sedeteppo
56 21. 43	tetepjoppjo — これは雨に降る時の鳴き声 moritswkeho: se — これは晴天を知らせる声	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	<input checked="" type="checkbox"/> 普通注記 <input type="checkbox"/> (B 除いた共通語) <input type="checkbox"/> (C 除いた特殊語)	ページ
	298-299		
項目名			
ほろほう(ふくろうの鳴声) 298			(20)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
56 22.48	po po < 天気あわりの時 > moritsuke hose < 天気あわりの時 >	
56 25.32	ハオオ ハオオ < ぶくろの幼い時は「ハオオ」と鳴く >	
56 25.91	gja: gja: [moritsuke ho: se ho: ho:]	
56 29.17	NR < あまりいじいので、よく分らない。 >	
56 32.28	noritsuke hohon < 家の老人が言った >	
56 38.67	NR 聞いたことばない。	
56 39.47	ホオホオ < あまりアホオの母声を聞いた >	
56 41.94	NR < 本当に聞いたことばないが、 moritsuke-hohon と鳴く いう語は聞いた! >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (21)
	298.299		
項目名			
はうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5646.39	キア? <コトモ / ナキゴエニニテイル>	
5649.53	NR このようナ鳥がいはいから。鳴声か わからん。	
5649.65	NR <何と鳴くか 知らん。>	
5652.22	? dorotsuku-ho:n!	
5653.60	po: po: ?	
5658.01	NR <ととナ鳥が ととナに鳴くか 知らん。>	
5658.54	NR <何とナくか 知らん。>	
5659.42	キリキリキリキリ 型らくミズクの啼声でアろう。	
5659.46	ヒイ ヒイ ミズクの啼声のことと 思われる。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (22)
	298・299		
項目名			
ほろほう(ふくろうの鳴声) 298			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 61. 68	NR 〈南いたことばだい〉	
56 61. 89	? po: po:	
56 63. 09	NR 〈あやふ南かい〉	
56 64. 58	? ホオホオ	
56 65. 46	NR 〈ソナ=イネエカラ Xッタ=ナカネエ。〉	
56 67. 41	NR 〈イタイ、シモタナカデワホオネオトユウ〉	
56 67. 77	[?] koe: koe: [古]	
56 67. 81	? キアアキアア 〈Xッタ=イタイ〉(といてゝおら 他の鳥とまきあやまてゝおらと 里う。)	
56 68. 13	NR 声を南いたことばだい。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (23)
項目名			
ほろほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 68. 38	NR <何と鳴くかわからない。>	
56 71. 94	# hu: hu: ?	
56 75. 36	ホイ ホイ <コイツがナクトフル>	
56 76. 52	ホツク デンシヨオ ... とはく のたきだ.	ホオ, ホオ
56 76. 84	ホオ ホオ (猫の鳴き声と同じ。と前置はマ)	
56 77. 14	hjo: hjo: 念のため たしかめたい 「ホーホー」とは鳴かないという。	
56 77. 85	キィ, キィ ホッ, ホッ	

フクロウの鳴き声。  
この鳴き声を雙内した。  
この鳴き声の鳥はミナクナドリというが  
たしか見たいといふこと。夜明け時  
か。とうかすると。夜。田で鳴いてくる  
がある。

(後、224と共に。不明という他対。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ
	298. 299		
項目名			
ほほう(ふくろうの鳴声)			(24)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 78. 33	ホオ. ホオ. (オミ着にまいたの答, 被調査者はこの鳥の. 声も殆ど知らないとの答)	
56 78. 71	NK < 聞いたことのないバ. ホッポーと鳴く声 >	
56 79. 86	NR (荒) ke: ke:	
56 80. 34	no'ritswke ho:se 【no'ritswke hoho:】	
56 86. 15	? ho: ho:	
56 86. 31	ho:ho horo'tswke de:fo: < ジェ・トリの鳴声 > hotta hotta < フクロウの鳴声 >	
56 86. 67	NR 鳴声はオオムシのこと。 (従って ミミズとフクロウの区別は不明)	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (25)
	298-299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 87. 32	ホーツク ホウ 〈この方が聞き易い〉 (但し、これは違う鳥の鳴き声ではない。同一の鳥だとのこと。人におぼろげに聞こえる鳴き声のとり方をすれば、或いは、時と場合による鳴き方の相違が知られる。)	ホオオオオ
56 88. 37	NR 不明。まいたことばないのこと。	
56 88. 74	N.K. 〈この思にはいいない。聞いたことばない。〉	
56 89. 43	# NR 〈聞いたことばあるが、はまりない。〉	
56 90. 12	? ho ho:	
56 90. 27	? ho: ho:	
56 93. 13	? ホイ ホイ	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (26)
	298-299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 298			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
56 95. 10	NR < 実物は見たことばない >	
56 97. 24	< ありまいた身がばいのでわからぬ > と。 NRは3 Nom.	
56 98. 30	ɣoː ɣoː < 冬鳴く。 >	
57 00. 96	horosūke ho: ho: < 土地にこの鳥は多し。 >	
57 03. 19	NR < 聞いたことばない >	
57 11. 18	NR < 聞いたことばわからぬ >	
57 20. 34	NR けま声を聞いたことばない	
57 21. 27	NR < 聞いたことばない >	
57 23. 60	ho ho horosūke 連続とみ付す。 Nom. hoeto	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の&lt; &gt; ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (27)
	298.299		
項目名		ほうほう(ふくろうの鳴声) 225	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5740. 87	NR 鳴り声は分らないという。但し、側に おいた被調査者の奥さん(同町出身)は [ホオホオ]と鳴くと答えてくれた。	
5741. 25	NR 聞いたことない 別に調査した他の調査者にすれば horosuke go: go:	
5760. 24	! de' reswke de' mbe: go: se: go: se: <テレ助 位置術> ロツチナシ	
5762. 41	NR <聞いたことない、鳴り声は。>	
5770. 60	NR (鳴り声を聞いてはいるが、なんとおま おでまないといて答えない。)	
5780. 11	NR <ネコと同じ?>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (28)
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5781.65	ZWRrwɪtto ho: ko: <「すゝと経けて奉公」の意の?>	
5782.79	NR < 殆んどいはから言わぬ >	
5782.94	hoʔ: ʔhoʔ: < 俗に > ZWRrwɪtto ho: ho:	
62.67.16	ミイミイ (鳴き声からふくろうをミイ、 <sub>ミイ</sub> 、 <sub>ミイ</sub> 、 <sub>ミイ</sub> )	
6349.80	NR noptsũke ho: so: と鳴く夜鳥あれど jozũkwaka とぞ不明。	
6354.46	NR < 南にたことばなり >	
6366.24	! noritsũke ho: sen ... < 晴れる >	
	! Fwrwtsũkw Fw: Fw: ... < 雨がふりやふれ >	
6377.11	ノリツケホイソ < たけは「天気」にちよと云う。 >	ホホホ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 298		(29)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
63 83. 77	ho: < 人の叫ぶ声に似ている >	bo'rokite ho: ko:
63 96. 83	NR < 聞いたことなし >	
04 02. 53	キキイ キキイ < 米 > ホホ	テチキ ホオセ
64 07. 28	雨の降る音と、天気になる音とで啼き声が違う。 昔のことと、今の鳴き声は変わった。 ゴロゴロ。 1959年1月13日の再調査におも ゴロゴロと"う" 答へ得た Tok. 雨の降る音と 天気になる音と、 どちらか わせらばいい。	
64 09. 35	リツケホオン < 天気になる音の鳴 >	
64 09. 72	ホオホオリツケホオソ < 天気になる音の鳴 > オオオオ < 雨の音は濁った声 >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (30)
	298. 299		
項目名			
ほほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 12. 12	1リツケホオ <small>〈子〉</small>	ホツホオ
64 13. 10	? POP: 0: (この附近は鳥が来ないのて、 被調査者はよく知らないと云う。)	
64 15. 23	gorokwto ho: sen hohon (以上の時は明日 天気のみ。 hohon hohon... (以上のようにホホンホホンとのみ 鳴くとするのは明日雨天という))	
64 16. 31	dorotswke ho: sen (ドツツケホーシェンと鳴く。 この鳥が鳴くと明日は 天気であるとのこと。)	
64 16. 58	1リツツケホオツオ <small>〈 1リツツケホオツオは明日。 晴天ときのみは耳声。 ドツツケホオツオは明日雨天 のときのみは耳声 〉</small>	
64 17. 72	dorotswke ho: so: (ドツツケホーソーと鳴く時 は明日雨。 nwritswke ho: so: (ヌリツツケホーソーと鳴く 時は明日晴))	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (31)
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 19. 25	? /リツケ ホオリ	ホオホオ
64 19. 69	NR < 猫のような声で鳴くと思うが、このへくは南のへく >	
64 20. 34	テリケ ホオセ <子>	ホオホオ
64 22. 93	! テリケ ホオセ /ドット コオカ <子> (ケと来うか)	ホオホオ
64 24. 20	gorokuto ho:se: ho:ho: (これか鳴くと明日は 天気にはずという)	
64 24. 89	ho:ho: 湯原町豊栄 bo:ro kite ho:ko: se:	
64 26. 04	mwritsuke ho:so: (明日天気にはずという)	
64 27. 27	ho:ho: noritsuke ho:sw (明日天気は両天か は言わはし)	
64 27. 40	ho:ho: mwritsuke ho: (又りは翔か:と、これか 鳴くと明日は天気にはず)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ  (32)
	298・299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 228			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
64 29. 15	テ <sup>ハ</sup> テッ <sup>ハ</sup> ホ <sup>ハ</sup> ポ <sup>ハ</sup> オ /リツケホセ 〈 /リツケホセと日言いますか これは意味はけに言ひ方 あり。一種のコシツケマあり。 本当の声は テ <sup>ハ</sup> テッ <sup>ハ</sup> ホ <sup>ハ</sup> ポ <sup>ハ</sup> オ 〉	
64 29. 65	モ <sup>ハ</sup> ッテ <sup>ハ</sup> ネ <sup>ハ</sup> ッコ <sup>ハ</sup> ロ ( 房 <sup>ハ</sup> ッ寝 <sup>ハ</sup> マ <sup>ハ</sup> の意 )	/リツケホセ
64 39. 17	ho <sup>ハ</sup> ho: 〈 :う鳴くと天候になる〉 mo <sup>ハ</sup> do <sup>ハ</sup> tte <sup>ハ</sup> ne <sup>ハ</sup> kkoro <sup>ハ</sup> jo: 〈 :う鳴くと雨になる〉 ( 房 <sup>ハ</sup> ッ寝 <sup>ハ</sup> マ <sup>ハ</sup> の意 ) 学校の先生に :おと do <sup>ハ</sup> de <sup>ハ</sup> : poppo	
64 41. 19	/リツケホセ、ホ <sup>ハ</sup> ウ <sup>ハ</sup> ホ <sup>ハ</sup> ウ → 上天候の時になく声 フ <sup>ハ</sup> ルツク <sup>ハ</sup> ホ <sup>ハ</sup> ウセ、ホ <sup>ハ</sup> ウ <sup>ハ</sup> ホ <sup>ハ</sup> ウ → 雨の時になく :	
64 41. 55	/リツケホセ 〈 :の鳴り声とすれは翌日天候に〉	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 226			(33)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6444.89	ホオホオ……………〈雄〉 ホロキテホオコオ…‐〈雄〉	
6447.08	moritsuke ho: so: 〈のく付け子行(魂が…騒動)〉	boozukoi
6447.39	ho: ho: 〈?〉	
6448.23	ホオオ ホオオ (模写的に10.答エ付い)	
6449.20	ホホオ コレヲ ドオ ショオ (此食而如何將為)	ホホオ
6450.45	ホーホー 〈のく付けほせ〉と続ける。	
6460.08	ホオホ ホオホ 誘導に於くハルツクホオソ…	
6471.59	ホオホオ (ホロキテホオコオと続けマ 子供に話す)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) ( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (39)
	298. 299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
64 57. 18	オカダイ / マカフイタイ <オカダイは地名>	
64 67. 73	φu: φu:    ① ho: ho:	
64 70. 59	ホロキチオオコ — ホロキチが鳴くけのこを捕まはす (稀とあらず時様を承ると之)	
64 79. 26	ホイホイ    [ホッホ] [ホイホイ]	
64 79. 95	NK            [?ホオホオ]	
64 80. 41	フルツクホーコ. ホロキチ. ホーコ (コ) ?	ホオホオ
64 81. 56	NR            声をまかせい.	
64 85. 14	[右] トオシテ トオコ (フルツクホーコと鳴くホーコ. トオシテトオコ. と 啄木の田舎・川津辺で) 〃 と 〃 ことである。)	ホオホオ
64 85. 82	ホオホオ.    <フルツクフウと鳴くホーコは小鳥の種類、トオキチ フルツクフウ    トオコイと鳴くホーコは大鳥の種類で山中へおみ トオキテトオコイ    捕りに来りてである。> (琴平の山からとんで来るとある。琴平の山は 神威で自然林のまじりに繁茂して深い。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (35)
	298・299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 00. 22	11ツケホセ 〈古〉	ホオホオ
65 01. 92	ホーホー      oこの辺では、あつりよかな。	
65 04. 44	moritsünke    ho:se → と11ツケホセ免 } になつと "                hosen → "                雨 } "3.	
65 06. 86	ho:ho:        [夫人(根尾大井の人) moritsünke ho:se:]	
65 07. 79	? ホオホオ	ブウブウ
65 09. 43	? グウグウ	
65 09. 91	11ツケホセ …… 〈ミスクの鳴き声〉	
	ホオホオ …… 〈フクロの鳴き声〉	
65 10. 65	ドロツケホオリ 〈雨の音〉 11ツケホオリ 〈天気の音〉	ホオホオ
65 11. 85	moritsuke ho:so:    他の被調査者は dedeppo: dedeppo と"。101, 104はこの被調査者に おれは"山鳩の鳴き声と"。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (36)
項目名			
ほほう(ふくろうの鳴声) 298			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 19. 43	! NR <この鳥はりばいので、鳴き声は知らはい。>	
65 20. 94	ゴロツキホオセ <これが 普通 >	ゴロットカエセ
65 22. 03	ゴロットカエセ - 「明日は雨だ」 } の意 リットホーセ - 「明日は晴だ」 }	
65 22. 79	オホン / リスリオケ (明日は雨だ) との意	
65 22. 93	{ ゴロットカエセ (雨降りになる) リスリオケ (晴天になる)	ホホー
65 23. 86	{ ? noritsuke okke: }	
65 26. 04	? : ホオホオ	
65 28. 64	NR まいたとはばい。	
65 30. 23	キアキア <普通耳をつんてく声でキアキア とは、晴天の夜はリツツホオセ リツツホオセ とはいっていると言う >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕などに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (37)
	298. 299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声)		226	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 34. 85	hoho < ココヘコイ と ぽく。 >	
65 37. 06	NR < 直接聞いたことばは「から知らは「い」が多分 ho: ho: と ・ 「うア「ほう」 >	
65 37. 21	? how how	
65 39. 60	(?) gja: gja:	
65 40. 79	? コロコロ.	
65 41. 27	? アステキ [ホオホオ]	
65 44. 26	korekute do: suru — < こつに「鳴」時「取」に「つ」 > moritsuke ho: se — < こつに「鳴」時「晴れ」 >	
65 46. 73	ho: ho: [gorosuke do: sita]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	298・299		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(38)
はらほう(ふくろうの鳴声) 298		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 47. 24	NR いらはい	
65 47. 67	NR 知らはい	
65 48. 02	NR 知らはい	
65 48. 82	? 1 ho:ẽ ho:ẽ (あほうおくしつはいほうであらう) ? 2 ho: ho:	
65 49. 60	1 ho? ho: <1は、鳴る声とやらを おねたの、2は昔の 2 gorosyũke do: se: ho? ho: 二言、ア鳴くとはいわ いるの>	
65 50. 96	? ホオホオ	
65 51. 20	? ホッホオ	
65 51. 52	NR <南にたるとははいから知らぬ>	
65 52. 71	NR <知りませく>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ  (39)
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 226			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 54.45	ho: ho: nori swroke: <ホ-ホ-稲用おけ>	
65 54.88	hohon noriswri'oke	「稲おけ」と鳴くと210 「おけ」と鳴くと210 「米つきおせ」と鳴くと210 「雨天」と鳴くと210
	hohon kometsukito:se	
65 56.03	* gorosuke ho'i ( gorosuke ho'i	
65 56.60	NK [ホオホオ]	
65 57.14	NR. 知らずい。	
65 57.54	NR. 一般に gorosukedo:fta と言うが、 私には <くつ鳴き声の1から	
65 58.37	hohoho. <普通。20鳥は [gorosuke dosei] & 11.2 鳴くと 言われる >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	298, 299		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(40)
ほうほう(ふくろう)の鳴声 225		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 59. 22	ho <sup>1</sup> :ho <sup>7</sup> : gōrosūke do:sei	
	<実際の鳴り声とは別に こうなるといわれている。>	
65 59. 67	NR	
	<またたきとか あまうがしから どういってまじい わからぬ>	
65 63. 43	? po:po:	
	<目で見る機会がたしか、また その声も あまう聞かぬ。>	
65 65. 22	ヨオハエ コウツケ トセエ ヨオハエ ヲツケ ホオセエ	
	<フクロが鳴くと雨が 降るからこのように云う。>	
65 65. 90	noritsuke ho:se	
	(糊付け、せ。洗濯さし) という声たがうてある。	
65 67. 79	ho:z ho:z	
	普通の話しのとまり、1オクターブほど も高く発音する。	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声)		226	(41)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6571. 68	ホオホオ (先年父窓の言語調査をした際、フクロウの鳴き声は、"ホー-ン、テンスケ、テンスケ"と"うと村の青年が教えてくれた。参考までに付記しておく。)	
6572. 04	ho: ho: 〈「ゴロトコケ」と鳴くと、型D雨。という語がある。〉	
6572. 55	ho? ho? [ 妻君曰く、この土地でこのとりはけは「おすけは晴れと"うか"とくにこの鳥の鳴き声から判る(こう"う:とけかある)のまは"う"という。 ]	
6575: 40	ho <sup>2</sup> ho: horosuke to: se [horosuke ho: i ho: i ]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ
	298.299		
項目名			(42)
ほほう(ふくろうの鳴声) 298			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 75. 82	de:sihoji de:sihoji <二度くり返す>	
65 77. 13	NR <聞いたことがない>	
65 77. 71	kometsuke oke (古)	hoho:N
65 82. 12	ホオイ ホオイ <ホオホオと付くという(目あり)>	
65 83. 45	ho: ho: <但し、夜は鳴かず、「ホロホロ ホーコホーコ」と鳴くと翌日雨、 「リスレ、リスレ」と付くと翌日晴->	
65 86. 27	ho: ho: <真似をしたらホーホーマオオ、コロ マオコイと1羽:2羽です。こはひ gorosyke koi 鳴くと漢文があるとわかる。>	
65 86. 32	gorosuke koi gorosuke koi (gorosuke koiと二度くり返す)	
65 90. 35	NR (付近に11羽いた)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (43)
	298.279		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 90. 87	NK (いじいのマ鳴き声はマいたことはいない。)	
65 91. 81	フワフワ……〈俗にこういふ。聞いたことはない。〉 フルツクニコ……〈本当はこういふ。マにらら……〉	
65 94. 67	フルツク フワフワ ホボオトオト 〈子供が汚い着物と着まじと母親は汚い たためるのには「フルツク = カマワレル」といふ〉	
65 95. 32	N.K. 〈聞いたことはない〉	
66 00. 97	? ho: ho:	
66 03. 08	NR. 〈フクロオが「いじいのマ」かわらはない。〉	
66 03. 24	? オオオ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (44)
	298, 299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 226			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 03. 82	ホオホオ...ゴロ <sup>4</sup> <ホオホオと叫んで最後にゴロ <sup>4</sup> と鳴く>	
66 05. 37	NR. <聞いたことか?>	
66 07. 03	NR. (都会生活者と鳥とはけや無縁だのてあうか)	
66 20. 53	NR <めつにまわく>	
66 21. 57	jēnzi jēnzi ho: ho: 何:ジ {ふくろう 子後の名}	
66 22. 69	gorottsi he: ke <he: keは平家>	
66 30. 43	[gōrosūke ho: ko: so] 聴覚に聞こえるかは 別にこういって鳴くと 言われる。	ho' ho'
66 30. 82	okummo okumbo... 鳴き声は gōrosūke ho: ko: so	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ  (45)
	298.299		
項目名			
ほうほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 33. 27	NR. たい	
66 33. 33	po: po: フクロはたい	
66 33. 89	goro: tso ho: ko: jona aketara sw: tsukute. 夜 <small>の</small> 鳴声 do: demo: — たいの鳴声	
66 34. 33	NR 知らはたい	
66 35. 20	NR たい	
66 35. 36	NR 知らはたい	
66 35. 44	無答 知らは由	
66 39. 79	taro: <u>tate: ta po: po:</u> ↳ 〈たて〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (46)
	278. 279		
項目名			
ほほう(ふくろうの鳴声) 225			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6641.43	hō: hō: < (ふくろうの鳴声) < bkwbo 17. 23ij. >	gorosuke hō: ko: jo:
6643.16	hō: hō: 17と2と1111	
6643.72	NR. 11	
6649.13	fwkmgwrosuke 224と同(6) (S.K.)	
6653.30	NR 11. 1111	
6657.96	NR. 1111	
6662.01	NR. 111	
6662.38	NR. 111	
6686.75	# ku <sup>7</sup> : ku <sup>7</sup> : <?>	
6711.60	jojo { poro } kite ho: ko <3> <2<35(03&7)> poro noto 1131313 (K& (Nom.))	jojo jojo